

第 100 回女川原子力発電所環境保全監視協議会会議録

開催日時：平成 17 年 11 月 17 日 午後 1 時 30 分から

開催場所：仙台市 KKR ホテル仙台 蔵王の間

出席委員数：22 人

会議内容：

1 開会

司会： ただ今から、第 100 回女川原子力発電所環境保全監視協議会を開催いたします。

本日は、委員数 37 名のところ、22 名のご出席をいただいておりますので、本会は有効に成立していることを報告いたします。

司会： 開会にあたりまして、会長の加藤副知事からあいさつを申し上げます。

2 あいさつ

(加藤副知事あいさつ)

司会： それでは加藤会長に議長をお願いし、議事に入らせて頂きます。

3 議事

議長： それでは、よろしく申し上げます。

さっそく議事に入らせて頂きます。

はじめに、確認事項の「イ」平成 17 年度第 2 四半期の「環境放射能調査結果」について説明願います。

(1) 確認事項

イ 女川原子力発電所環境放射能調査結果(平成 17 年度第 2 四半期報告)について

(事務局から平成 17 年度第 2 四半期の環境放射能調査結果について説明)

議長： ただ今の説明につきまして、御意見、御質問がございましたらお伺いいたします。

(なし)

議長： ないようでしたら、次の議題、確認事項「ロ」平成 17 年度第 2 四半期の「温排水調査結果」について説明願います。

ロ 女川原子力発電所温排水調査結果(平成 17 年度第 2 四半期報告)について

(事務局から平成 17 年度第 2 四半期の温排水調査結果について説明)

議長： ただ今の説明につきまして、御意見、御質問がございましたらお伺いいたします。

(なし)

議長： ないようでしたら、次の議題、確認事項「ハ」平成 16 年度の「温排水調査結果」について説明願います。

ハ 女川原子力発電所温排水調査結果(平成 16 年度報告)について

(事務局から平成 16 年度の温排水調査結果について説明)

議長： ただ今の説明につきまして、御意見、御質問がございましたらお伺いいたします。

(なし)

議長： ないようでしたら、平成 17 年 7 月から 9 月までの環境放射能及び温排水調査結果並びに平成 16 年度の温排水調査結果につきまして、本日の協議会で御確認を頂いたものといたしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

議長： それでは、これをもって御確認を頂いたものといたします。

次に、報告事項に移ります。

報告事項「イ」の「女川原子力発電所の状況について」説明願います。

(2) 報告事項

イ 女川原子力発電所の状況について

(東北電力から女川原子力発電所の状況について説明)

議長： ただ今の説明につきまして、御意見、御質問がございましたらお伺いいたします。

小野委員： 職務柄、今浜回りをしております。ただいま電力さんのこの地震に対する影響関連の説明があったわけですが、常々このこういう問題を含めまして、質の高い情報の確保に努めながらそれぞれ対策を講じておられるということに対して敬意を表させて頂きたいと思っております。

私が 11 月の初めに発電所の近く、表浜等を回った際に、民間の地震を予知する機関と申しましょうか、宮城地震研究所というところがあるようでございますが、そこからその漁業協同組合の方に情報が流されたようでございました。その内容は、地震発生の予測情報ということで、この 12 月の 20 日から正月の間に発生するだろうという情報が流されまして、各漁業協同組合においては会員の皆さんに刷り込みのチラシをつくって、その危機管理に十分に対応するように気をつけましょうというような情報を流しているところでございます。

従いまして、このような民間の調査機関がどの程度あるものかわかりませんが、電力さんにおかれても、どの程度これらの情報を入手し、また、それを対策に取り入れているのか伺いたいということがまず第 1 点でございます。

それから、第 2 点でございますが、先ほど資料-2 で説明がありましたが、13 ページの温水の測定範囲ということでございますが、発電所のすぐ近くにある浜ではそのホヤの養殖等をやっているのですが、これが今年例年の半分になってしまっているという話を聞いております。この温排水等の問題についてはいろいろあるのかもしれませんが、関心を持っております。差し支えない範囲でご指導いただければと思っております。以上でございます。

議長： 回答をお願いします。

東北電力： 1 点目の民間の地震を予知する研究所と申しますか、そういう情報についてどう活用しているかというご質問だと思いますが、今回我々もこの地震については要因分析をいろいろやっておるわけですが、色々な地震関係の公共の情報や、それから地震の専門の学者の方々ですね、こういった方の意見を十分取り入れて、色々な角度から今回の要因分析というものを行っております。しかしながら、今ご指摘のあった民間の予知についての情報というのは、特に今のところは参考にしておりません。いずれにしろ最終的には公の形で、あらゆる観点からチェックがなされていくものと考えております。そのような意味で、お話しがあった民間の研究所のところまではちょっと手が回らないというのが実情でございます。

事務局： ホヤの件でございますけれども、ことしは女川湾だけでなく、広く例えば歌津の方まで含めまして、例年と比べるとへい死が多いような状況でございます。一方で、韓国に対するホヤの輸出等がかなりの量がございまして、ホヤの生産量が非常に最近増えているということがございます。そういったことで、全体的なところを、まず全体像をつかもうということをやっているところでございます。

議長： よろしゅうございますか。はい、どうぞ。

阿部(和)委員： ただいま信漁連の専務さんがホヤのことについて話したのですが、答えにはなっておりません。はっきりとした研究をしていないのです。今年のホヤは韓国に輸出したのではありません。現実には去年の濁流でシウリ貝まで全滅したのです。このごろやっと復旧して仕入れがついてきたけれども、シウリ貝までなくなったのです。とにかく、あの去年の濁流のためにそういう結果になったのです。

もう一つ、原子力防災訓練についてですが、この間の防災訓練のときも、うちの方の第六小学校や・第四中学校では避難しようとしたところ 105 カ所のカーブがあって大型バスで回り切れないという状況です。コバルトラインへ上ろうとしたら、尻がつかえて上がれないとまた戻ってきたという状況です。

そういう状況なので、これは県への申し入れになると思うのですが、是非早く道路の改修を行ってほしいと思う次第です。子供も含めて皆新聞を読んで知っています。県道ですので、県としてどうかよろしくお願ひしたいと思っております。

議長： ただいまのホヤの件についてどうですか。

事務局： 組合さんから十分にお話を伺わせてさせていただきます。

議長： よろしいですか。

それから、お話がございました県道の件につきましては、ここに本日委員としていらっしゃる須田先生からもお話を伺っており、さらに検討してまいりますので、ひとつよろしく願いいたします。
ほかにございませんでしょうか。

(なし)

議長： ないようですので、事務局からはいかがですか。

事務局： 次回の協議会の開催日を、決めさせていただきます。3か月後の平成18年2月17日の金曜日、仙台市内での開催を提案させていただきます。

4 次回開催

議長： ただ今事務局から説明がありましたが、次回の協議会を18年2月17日の金曜日、仙台市内で開催することによろしいでしょうか。

(異議なし)

議長： それでは、次回の協議会は平成18年2月17日の金曜日に仙台市内で開催しますので、よろしく願いいたします。

その他、何か、御質問、御意見等がございますでしょうか。

事務局： 御報告させていただきたいことがあります。

本協議会の委員の任期は、2年間になっており、11月23日で満了いたしますが、本日御出席いただいております「鈴木進」委員、「阿部至雄」委員、「湯田和郎」委員の三名の方々と、本日は欠席されております「馬場護」委員の4名の方々が今期をもって御退任されることとなりました。

鈴木委員には、昭和54年より本協議会の設立と共に13期、26年間に渡り委員として御指導、御助言を頂きました。

阿部委員には、昭和57年より技術会の委員をお引き受け頂き、その後平成7年より本協議会の委員をお引き受け頂いており、通算で23年間御指導、御助言を頂きました。

また、湯田委員には、平成7年より10年間委員として、御指導、御助言を頂いております。

本日御欠席の馬場委員を含め、4名の方々の長年の御尽力に深く感謝申し上げ、御報告させていただきます。

議長： ただいま事務局からもご報告がありました。それぞれ長い間にわたりまして、大変なご指導、そしてまたご尽力を頂きましたこと、先生方には心から厚くお礼を申し上げます。

副会長としてお働き頂きました鈴木先生、それから阿部先生、湯田先生、よろしければごあいさつをお願いしたいのですが、よろしく願います。

鈴木委員： 長いことこの会に出席をさせて頂きまして、大変ありがとうございました。私自分もこの会を通じていろいろな勉強をさせて頂きました。これからもこの会がますます発展し、それから原子力発電所について優秀な政策を上げられることを祈念いたしまして、あいさつにかえさせていただきます。ありがとうございました。

議長： ありがとうございます。では、阿部先生。

阿部委員： 私も試運転前から一応かかわることができました。環境保全というと大分範囲は広いのですが、私の専門が水工学ですので、温排水についてそのような観点から携わらせていただいております。

温排水は当初の計画の温度内で、拡散範囲も計画の範囲内であると判断させてもらっておりました。この会ではいろいろな角度から検討するわけであり、どういったことを、どのくらいの時空間尺度で見るとかによって、相当変わるかと思いますが、大筋ではきちっとした方向を向いているものと私は思っております。どうも長い間ありがとうございました。

議長： どうもありがとうございました。それでは、湯田先生。

湯田委員： 私の場合は平成7年にお話がございます、「委員をやってみないか」というようなことでございましたのでお引き受けいたしまして、それから今日まで10年という年月が流れたわけでございます。その間皆様方のご支援を頂きまして、つつがなく職務を全うさせて頂きました。この席をお借りして厚くお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

議長： ありがとうございます。

各先生方におかれましては、これからもひとつ大所高所からご助言、そしてまたご指導賜りますよう、

よろしくお願いを申し上げます。

鈴木先生，阿部先生，湯田先生への感謝を込めて，また今後ますますのご健勝，ご活躍をご祈念申し上げます，皆様ひとつ盛大な拍手をお願いいたします。（拍手）

ありがとうございました。それではこれで本日の議事を終了させて頂き，議長の職を解かせて頂きます。ありがとうございました。

5 閉会

司会： ありがとうございました。

それでは，以上をもちまして，第 100 回女川原子力発電所環境保全監視協議会を終了といたします。